

## ゼミ II：宿題 2

村澤 康友

提出期限：2025 年 10 月 1 日

1. 浅野・矢内 (2018, 第 2 章) を読み<sup>\*1</sup>, 内容を十分に理解した上で, 自分のリサーチクエスチョンが「規範的問題」でなく「実証的問題」になっていることを確認し, そのリサーチクエスチョンに対する答としてメッセージを書き直しなさい.
2. ChatGPT, Google 検索, または国立国会図書館サーチ (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>) の記事・論文検索機能を利用して<sup>\*2</sup>, 研究テーマに関連する先行研究を3 点以上見つけなさい. なお先行研究は和文か英文で以下のものに限る.
  - (a) 学術雑誌公刊論文
  - (b) 学術書
  - (c) 未公刊の学術論文
  - (d) その他, 少なくとも著者が明確な一般書・論文※見つけられない場合は図書館 2 階ヘルプデスクに相談すること.
3. プレゼン資料として以下の 4 枚のスライドを作成し, PowerPoint 形式のファイルを My KONAN で提出しなさい.
  - (a) タイトルスライド (ゼミ研究のタイトルと所属・名前)
  - (b) リサーチクエスチョン (実証的問題であることを確認)
  - (c) メッセージ (リサーチクエスチョンに対する答)
  - (d) 参考文献 (先行研究 3 点以上の書誌情報)※書誌情報: 著者名・論文タイトル・掲載誌・巻・号・ページ・出版年 (URL のコピペのみは不可)

### 参考文献

浅野正彦・矢内勇生 (2018) 『R による計量政治学』, オーム社.

—— 今週の格言 ——

愚者は経験に学び, 賢者は歴史に学ぶ. —ビスマルク

<sup>\*1</sup> 2025 年 9 月現在, amazon の「試し読み」で読めます.

<sup>\*2</sup> 「絞り込み条件」を開き, 「資料種別」の「雑誌記事等」のみにチェックを入れて検索する.